

徳島大学

ニュースレター

＜令和2年度上半期＞

https://www.tokushima-u.ac.jp/visitor/graduates/alumni_association/news/



目次

01	学長あいさつ		1
02	各同窓会の活動状況		3
03	活躍する卒業生の紹介		1 2
04	徳島大学創立 7 0 周年記念事業		2 4



◆ニュースレター

徳島大学長 野地澄晴



同窓会の皆様におかれましては、日頃より徳島大学の活動をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。昨年度は、徳島大学創立70周年を迎えるにあたり皆様にご寄附をお願いしましたところ、多くの同窓生からご支援をいただき、誠にありがとうございました。また、ホームカミングデーなどの事業では、多くの皆様にご参加いただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。

徳島大学では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、昨年度は卒業式、本年度は入学式を中止いたしました。また、5月14日に緊急事態宣言が解除されましたが、感染拡大防止のため学生に対しては、講義を遠隔で行うなどの対策を取っています。このようなパンデミックが発生するとは想像さえしておらず、大学における基本的な感染症研究の重要性を改めて感じ、今後に向けた更なる対策の必要性を実感しております。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、生活が困窮している学生もあり、現在支援金として3万円の支給を行っておりますが、その財源の一部に徳島大学基金を使用させていただいております。その中には皆様からいただいた寄附金も含まれておりますが、徳島大学の危機を回避するために使用させていただきますこと、ご了承いただければ幸いです。



今回の新型コロナウイルス感染症が早急に終息することを願っておりますが、終息後も長期的な対策が必要と考えております。学生への支援についても今後継続して行う必要があることから、さらなる財源の確保を考えておりますが、皆様からのご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

◆ 同窓会の活動状況

渭水会（総合科学部同窓会）

渭水会理事長 毛利 久康 もうり ひさやす

今年は新型コロナ感染拡大の影響で入学式こそ行われませんでしたが、本会も 199 名（学部生 175 名、院生 24 名）の学生会員をお迎えし、渭水会として新たな 1 ページを加えることができ、大変嬉しく思っています。

ただ今年は、学生会員の皆様が、この時期どのように学生生活を送られているか、私共もとても心配しています。渭水会会員として会報等を通じて情報交換や支援を行っていきますので、未永く宜しくお願いします。



昨年度を振り返りますと、徳島大学創立 70 周年記念事業として、渭水会では初のホームカミングデーを開催しました。正会員、学生会員そして大学教職員のご協力もあり「総合科学部キャンパスデジタルアーカイブ」や「同窓会 in 学食」などの企画を楽しんでいただきました。詳しくは別途報告させていただきます。

また、助成事業として、会員の取り組まれる同窓会、講演会、研究会などに経費の支援を行いました。

10 月には会報第 48 号を発行しました。ホームカミングデーの企画と連動し、「総科のおたから特別編」と題して特集。師範学校時代から学芸学部、教育学部、総合科学部と 140 年余にわたるキャンパスの変遷を古写真で振り返り、好評を博しました。また、「総科をたずねて」の連載第 2 回として、教職教育センターから「教員養成の現状」を、現職の教員お二人から教育現場での取り組みを寄稿いただきました。ほかにも多くの方からご寄稿・ご協力いただき、充実した内容となりましたこと、感謝申し上げます。

3 月には第 6 回渭水会会長賞を 4 名（院生 1 名、学部生 3 名）に授与しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で表彰式が行えなかったのは残念でしたが、これから社会人として益々ご活躍のことと確信しております。

令和 2 年度は波瀾の幕開けとなりましたが、今年度も同窓会の会員の皆様とともに、各種の活動を企画・実施していきたいと思えます。

ところで 2024 年には、教員養成の学校として開学 150 周年を迎えます。今後とも同窓会としての活動にご理解ご協力をお願いいたします。

なお、活動の詳細や会報の内容につきましては、渭水会 Web サイトをご覧ください。

渭水会 Web サイト <http://www.isuikai.jp>

青藍会（医学部医学科同窓会）

会長 桜井 えつ さくらい えつ

世界中で猛威を振るうコロナウイルスと人間の英知との戦いの最中、新しく卒業生 102 名が青藍会の正会員として加わり、新入生 114 名（男子 71 名・女子 43 名）を準会員として迎えました。ただ、従来のような晴れやかな卒業式も入学式も開かれず、残念な春になりました。先輩の気持ちとして文書で祝福をいたしました。この若者たちの未来が安穩であることを願っています。



さて、今期の青藍会からの活動報告をさせていただきます。

12 月には青藍会報 94 号を発刊しました。スリムにはなりましたが、会員の方からの投稿が増えた上に広告・寄付など暖かい支援もあり、かなり満足できる会報であったように思います。年明の 1 月 6 日には「Student Doctor 認定証授与式および白衣授与」で例年同様青藍会のネーム入りの白衣を贈りました。購入のための資金は今回も東京支部の同窓の方からの寄付でした。2 月 18 日に優秀な研究者に贈る青藍会賞の選考委員会が開かれました。AWA サポートセンター准教授の石澤有紀先生が選ばれました。論文の題目は「新規大動脈解離モデルマウスの確立と、動物実験およびデータベース解析を用いた薬効評価」でした。今後世界に届く研究を期待して賞金の増額をはじめ応募規定の再検討中です。財務的には、会費の納入アップや多くの医療機関からいただいた広告・寄付などにより、一昨年度単年度黒字になり、一息つきました。有効に使うこととして、医学科の学生さんとその保護者の方たちに青藍会の情報を提供する目的で「青藍会だより」を創刊しました。また医学部医学科へ支援金として寄付を行いました。学生さんが、臨床実習での受け持ち患者の学習や症例提示の準備や医師国家試験対策等で使用する自己学習の場所がなく苦勞されていたとのことで、支援金は臨床実習学生用学習室の整備に使われました。令和元年度も事務局の努力の成果などにより黒字決算になりました。まだ正式な承認は得られていない段階ですが、コロナの嵐の中で十分な勉強ができない学生さんの遠隔授業推進などの一助とするために支援する予定です。額は些少ですが、おそらく不安の毎日を過ごされている学生さんの心の支えになることを期待しています。

11 月に予定されている青藍会講演会の講師には地域医療に貢献され、第 2 回日本医師会赤ひげ大賞を受賞されております白石吉彦先生にご講演お願いしご承諾をいただいております。コロナが終息し無事開催できますことを願っております。

徳島大学医学部医学科同窓会

寄贈 青藍会

[illegible]

栄友会（医学部栄養学科・医科栄養学科同窓会）

会長 津田 とみ つだ とみ

今期、2019 年度後半の活動状況ですが、まずは全学を挙げ
ての創立 70 周年記念行事で栄友会は、ホームカミングデーで
の栄友会特別講演会（スライド 1）、栄養展（蔵本祭合同企画）、
研究室見学ツアーという内容で記念行事に参加しました。

特別講演会（講師：中村丁次 神奈川県立保健福祉大学学長/
日本栄養士会会長（5 期））は遠くからの卒業生や多数の蔵本キ
ャンパスの若い会員が参集し、中村先生の熱い思いの講演を聴くことが出来ました。その日
の栄養学科棟の玄関前での記念写真ですが（写真 1）、中央に見えるのが栄養学科創設の父
とも言える、児玉桂三 元学長（第 2 代）の残された言葉「食律生命」が刻まれた銘文プレ
ートです。また前夜の中村先生を囲む食事会では、食べ、飲み、未来や思い出を語り合う楽
しい時間を持つことが出来ました。



翌 11 月 3 日、大学創立 70 周年記念式典と祝賀会が催され（於ホテルクレメント）、そ
のアトラクションで登場した私たちの栄養学連の阿波踊りが一段とお祝いの熱気を盛り上
げ、ご出席の皆様から大きな拍手をいただき学生たちにも励みになったと嬉しく思いまし
た（写真 2）。

3 月の卒業式や謝恩会は中止となりましたが、卒業生の約半数が大学院へ進学、約半数は
社会人の第一歩を踏み出しました。大学院進学率が高いことが栄友会の大きな特色であり、
その結果 370 名を超える博士が巣立ち、Principal Investigator となり、今では全国各地
の大学で 150 名を超える栄友会員が教授・准教授として栄養学の世界でリーダーシップを
発揮しています。

入学式や歓迎会は中止となりましたが、新年度の活動は、5 月の会報の発行、7 月の総会
と学術講演会などを予定しています。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の収束が
見られない場合は、それらの延期や縮小など予定の変更を余儀なくされるかもしれません。
このような日々でも、各地のメンバーからは新型コロナウイルス対策に連日奮闘している
様子が伝ってきています。今春 52 名の新会員（57 期）を迎え、会員総数は 3,000 名に達
したところです。“私たちの栄友会ネットワーク”は元気に動いています。今後とも、徳島
大学同窓会連合会の一員としてよろしくお願いいたします。

今期も若い世代の各種受賞者を、把握できた範囲ですが紹介させていただきます。

●第 35 回 日本臨床栄養代謝学会学術集会 『Young Investigator Award』: 瀬部真由 博士後期課程 3 年 (48 期)

●第 23 回 日本病態栄養学会学術集会 『Young Investigator Award』: 瀬部真由 博士後期課程 3 年 (48 期)

●第 52 回日本栄養・食糧学会 中国・四国支部大会 『学生奨励賞』を、2 名が受賞:
亀井優輝 博士前期課程 2 年 (51 期)、森優樹 博士前期課程 1 年 (52 期)

●令和元年度『若手研究者学長表彰』 金子一郎 徳島大学応用栄養学分野助教(35 期)

●2019 医学部ベストティチャー・オブ・ザ・イヤー 金子一郎 (35 期)

●令和元年度 医学部優秀教育賞 栄養学優秀教育賞 増田真志 (39 期)

●平成 31 年度 康楽賞を 3 名が受賞:

下畑隆明 (39 期)、木戸純子 (48 期)、天宅あや (50 期)、木村玲奈 (53 期)

●令和元年度 児玉賞 木村玲奈 (53 期)

* 2020 年 3 月実施の第 34 回管理栄養士国家試験では、新卒の受験者 48 名 (53 期) 全員合格。



スライド 1

ホームカミングデー栄友会特別講演会、2019 年 11 月 2 日 (土曜日) 於 ; 藤井節郎記念
医科学センター



写真 1 栄養学科棟エントランスにて、左から
4 人目が中村丁次教授 (2019/11/2)



写真 2 鳴り物も備えた栄養学連
(70 周年記念祝賀会) (2019/11/3)

栄友会ホームページ <https://eiyo.jimdo.com/>

睦眉会（医学部保健学科同窓会）

会長 橋本 公子 はしもと きみこ

徳島大学医学部保健学科/大学院保健科学教育部をご卒業・修了されました皆様、4月にご入学されました新入生の皆様、そしてご家族の皆様にご心よりお祝いを申し上げます。このような喜びの中、突如発生した新型コロナウイルスは、卒業式をはじめ人と接する機会を奪いながらも感染が急速に拡大しています。今しばらく、自分自身や周囲の方達の健康と安全のために行動を抑制し、私たち皆で感染を防止しましょう。



さて、睦眉会の活動をご報告いたします。睦眉会からは、ホームページと会報を通して情報発信しております。この機会にHP(<http://mutsumi.web5.jp>)をご覧ください。過去の会報も掲示しています。会報には、母校の近況や活躍する卒業生、同窓生の声、教員や研究紹介などを掲載しています。年1回の発行ですが、大学の動向や同窓生の活躍を知ることができます。また、昨年度の徳島大学創立70周年を迎えるにあたり、記念事業の開催に向けて、ご協力やご支援等の連絡も会報を通じてさせていただきました。ご協力いただき誠にありがとうございました。11月に開催しました徳島大学創立70周年記念事業ホームカミングデーの様子は、徳島大学同窓会連合会（https://www.tokushima-u.ac.jp/visitor/graduates/alumni_association/）のニュースレターに掲載しております。キャンパスツアーと講演会など、懐かしい母校でのひと時を過ごしていただけたものと思われる。

さらに昨年度も国際交流はじめグローバル化時代を担う優秀な人材の育成に向けて、保健学科/大学院保健科学教育部に国際交流基金として寄付金を贈呈しました。現在、全世界を対象に危険情報「レベル2」が出されていますが、今しばらくは日本にしながら国際交流をされるものと思われます。いずれにしても、人材育成は重要ですので、継続して支援していきたいと考えています。

睦眉会の会員数は、7276名となりました。徳島大学の発展と同窓会の一層の充実のため、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

睦眉会ホームページ <http://mutsumi.web5.jp/>

蔵歯会（歯学部同窓会）

会長 笠原 信治 かさはら しんじ

蔵歯会では、令和2年3月に歯学部歯学科38期生41名、口腔保健学科10期生14名の卒業生を迎え入れ、歯学部卒業生の総数は2,155名（歯学科2,008名、口腔保健学科147名）となりました。歯学科卒業生の多くは歯科医院開業医や勤務医として地域医療に貢献しています。また、全国の大学や厚生労働省関係の行政で活躍する会員も多く、本学歯学部8名をはじめ、岡山大学2名、大阪大学2名、高知大学、鶴見大学、昭和大学、獨協医科大学、新潟大学、鳥取大学、金沢大学、愛媛大学にそれぞれ1名、並びに徳島文理大学4名、高知学園短期大学1名の25名が教授となって活躍しています。口腔保健学科の卒業生は、歯科衛生士と社会福祉士のライセンスを活かして、大学、行政、病院や歯科医院、大手企業などの重要なポストに就いて頑張っています。



蔵歯会は平成2年に創立され、30年を迎えました。この間、徳島大学は国立大学から国立大学法人へ移行し、また歯科医療界は、口腔の健康が全身の健康に関連し、命を支える歯科医療として他の職種と連携した超高齢社会への対応が求められ、キュア中心からケア中心の時代へと転換してきました。そして、インターネットの普及により、卒業生の意識や同窓会に求められるものも大きく変化してきたと感じます。新型コロナウイルスの影響はしばらく続き、デジタル化やオンラインでの交流促進は急加速することと思います。今年度の蔵歯会本部では、庶務渉外と福利厚生を総務として、一括管理で従来の業務を効率化し、新たに企画情報を設置することにより、デジタル化に対応した同窓生の交流を図るとともに、全国各地の15支部と連携して、後輩学生達のために大学と社会の懸け橋になれる組織運営を考えています。

蔵歯会ホームページ <http://www.tokudai-d.net/>

薬友会（薬学部同窓会）

会長 水口 和生 みなくち かずお

平成 28 年度から 2 期にわたり会長職を務められた鳥取桂様の後を引き継ぐことになりました第 20 回卒の水口和生です。突然のことで不安もありますが、母校に少しでもお役に立つことが出来たらと思いお引き受けさせて頂きました。歴代会長の皆様が培われた伝統を大切にしながら、母校と薬友会発展のため精一杯努力いたします。会員の皆様方のご指導ご鞭撻ご協力の程よろしくお願いいたします。



薬友会は薬学部卒業生および在校生により構成されており、会員数は卒業生・大学院修了生合わせて 5,216 名となっています。薬友会は隔年で薬友会誌を発行しており、本年 5 月に第 16 号を送付する準備を進めています。今回の薬友会誌では会員の皆様のご協力により多くのクラス会開催の寄稿文を掲載することができました。また薬学部の現状や各研究室の現状を紹介している記事も載せておりますので、ぜひ手に取ってご覧ください。

徳島大学薬学部は年に 2 回、卒後教育公開講座を長井記念ホールで開催しており、薬友会はこの活動を後援しています。今年度は新型コロナウイルス感染症のため 1 回のみの開催（11 月 1 日（日）、テーマ：「薬剤師のあるべき姿を再び考えてみる～基礎薬学と医療情報を最大限活かすには？」）となりますが、会員の皆様のご来場をお待ちしています。

令和 2 年 3 月 6 日は令和元年度の薬友会役員会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて役員会を書面による説明と表決に切り替え、役員改選のほか令和 2 年度の薬友会活動について承認をいただきました。詳細については、5 月発刊の薬友会誌中の事務局からのお知らせをご覧ください。

4 月には新入生 81 名を薬友会準会員として迎えました。ただ残念なことに今年度の入学式は同じく新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、新入生の皆様にはこのような状況にあっても薬学部での大学生活を謳歌されることを願っています。

薬学部は 1922 年に長井長義博士の進言で設立され、2022 年に節目となる 100 周年を迎えます。薬友会はこの記念すべき年を学部そして卒業生の皆様方と共に盛り上げていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

薬友会ホームページ

https://www.tokushima-u.ac.jp/ph/campus_life/alum/reunion/

工業会（工学部・理工学部・生物資源産業学部同窓会）

理事長 坂東 武 ばんどう たけし

工業会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

前年度は、まず5月に支部長会議、総会、記念講演会、懇親会、ホームカミングデイが、11月には母校70周年記念行事としてホームカミングデイと講演会が開催されました。支部活動では、18番目の支部、山陰支部が創設されました。



今春3月には、理工学部と生物資源産業学部へ改組されて初めての卒業生が、学部と大学院をあわせて1,007名、巣立られました。また4月には両学部で729名の新入生が入学され、卒業生は正会員に、新入学生は準会員となりました。残念ですが、卒業式、入学式とも新型コロナウイルス感染症対応のため中止となりました。

今期、令和2年度の主な活動は、次の①～⑨のとおりです。

①支部長会議、総会、記念講演会、懇親会、ホームカミングデイ

【新型コロナウイルス感染症対応のため中止】

②全国18支部の総会、ならびに若年層参加促進支援策の継続

③7月～8月 生物資源産業学部・理工学部の成績優秀賞表彰

④9月 徳島大学工業会会報（第66号）32,800部発行

⑤令和3年3月 卒業生表彰、博士前期課程・博士後期課程修了生表彰

⑥令和3年3月 御退職者表彰

⑦国際会議発表の博士前期課程学生への助成

⑧理工学部・生物資源産業学部への賛助

⑨名簿発行 精度管理等の作業のために発行を次年度以降に延期

ここ数年間は、工専・工学部創立100周年（2022年）、工業会創立90周年（2023年）と、節目を迎える大切な時期です。さらにその先の工業会100周年に向けて、多くの皆様が、母校ならびに工業会に興味・関心を持ち、理解し、賛同し、行動を起こし、参加していただく好循環が「会員相互の親睦」、「母校の隆昌」の道筋であります。これからも、引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

時節柄、会員の皆様には呉々もご自愛下さい。

工業会ホームページ <https://www.tokushima-u.ac.jp/kgk/>

◆ 卒業生紹介

各界でご活躍される卒業生をご紹介します。

渭水会

野口 幸司 のぐち こうじ

徳島新聞 NIE（Newspaper in Education）コーディネーター
徳島県教育委員会学校訪問指導員

1959 年 木屋平村生まれ

1981 年 徳島大学教育学部中学校教員養成課程卒業（教育学士）

【職歴】

1981 年 鴨島町鴨島小学校教諭

1986 年 鳴門教育大学学校教育学部附属小学校教諭

2008 年 鳴門市里浦小学校教頭

2015 年 三好市政友小学校校長

2019 年 徳島新聞メディア 徳島新聞 NIE コーディネーター

【役職】

2014 年 日本新聞協会 N I E アドバイザー

2015 年 徳島 N I E 研究会会長

2016 年 徳島県小学校教育研究会国語部会会長、四国国語教育連盟会長



小学校教員として 38 年間、国語教育に取り組んできました。1995 年に徳島県小学校教育研究会事務局長として県研究主題に導入した単元学習の理念は、今日も引き継がれています。単元学習の開拓者である大村はまの学習記録が、東京ではなくこの徳島に残されていることに大きな意義を感じます。大村はまの師である芦田恵之助の追悼集会として始まり 68 年の歴史を持つ教壇研修大会では、2008 年以来 2018 年まで毎回管理職教壇で授業を公開してきました。芦田恵之助から大村はまへと引き継がれ、徳島に根付いた教壇尊重の精神を絶やすまいと願ったからに他なりません。

新任校長として勤めた三好市政友小学校は全校児童 5 名の県下で最も小さい学校でしたが、テレビ会議システムによる遠隔合同授業など、最先端の教育環境を整えました。最後の 6 年生 4 名は、市陸上運動記録会に 3 名が入賞、全国青少年読書感想文コンクールで最優秀

の内閣総理大臣賞を受賞するなど、運動にも学習にもすばらしい結果を残しました。彼らの卒業によって在籍 0 となり、同校は休校となりましたが、母校木屋平村川井小学校での体験や半田町大惣小学校での僻地勤務の経験を生かすことができ、教師としての幸せに出会えた 2 年間でした。

吉野川市飯尾敷地小学校に勤務していた 2007 年、認知症のお年寄りを招いて戦争体験を語ってもらう授業が毎日新聞の 1 面に大きく取り上げられたのをきっかけに、新聞を教育に活用する NIE に取り組むようになりました。定年退職後の 2019 年からは、徳島新聞 NIE コーディネーターとして、出前授業と記事作りにこれまでの経験を生かしながら、新たな挑戦を続けています。

青藍会

小山 文彦 こやま ふみひこ

東邦大学 医療センター佐倉病院
産業精神保健・職場復帰支援センター
センター長・教授



【略歴】

平成 3 年 3 月 徳島大学医学部医学科卒業
平成 3 年 5 月 岡山大学医学部神経精神医学教室入局、
同附属病院にて研修
平成 13 年 4 月 香川労災病院 メンタルヘルス科副部長
平成 17 年 8 月 香川労災病院 勤労者メンタルヘルスセンター長
平成 21 年 8 月 独立行政法人労働者健康福祉機構 本部研究ディレクター
平成 25 年 10 月 東京労災病院 勤労者メンタルヘルス研究センター長・両立支援部長
平成 28 年 10 月 東邦大学 産業保健・職場復帰支援センター（佐倉）センター長・教授
現在に至る

【学会における役職・公職等】

日本産業精神保健学会理事、日本産業ストレス学会理事、日本外来精神医療学会常任理事、
日本精神神経学会専門医・指導医、日本職業災害医学会評議員・労災補償指導医、人事院健康専門委員、東京労働局精神部会委員、日本精神科産業医協会理事、日本総合病院精神医学会評議員、東京産業保健総合支援センター産業保健相談員

【著書（単著）】

- ・精神科医の話の聴き方 10 のセオリー (創元社 2019 年)
- ・主治医と職域間の連携好事例 30 – 治療と仕事の両立支援 メンタルヘルス不調編Ⅱ (労働調査会 2015 年)
- ・ココロブルーと脳ブルー-知っておきたい科学としてのメンタルヘルス- (産業医学振興財団 2011 年) 等

私は、広島県出身で、尾道東高校を卒業後、徳島大学医学部医学科に入学いたしました。卒業後は、岡山大学神経精神医学教室に入局し、同附属病院にて研修を始めました。徳島大学医学部在学中より、人の精神現象に関心を持ち、精神疾患の病態・治療を学び、病状・障害に対する治療、支援に貢献できればと考えておりました。精神科医として、当初は青年期臨床への注力が大きかったものの、次第に勤労者医療・研究に自身のエフォート率は高まり、労働衛生・産業保健に関する公的研究に取り組む機会にも恵まれ、産業メンタルヘルス領域を中心とした学会活動も増してまいりました。このような流れから、東京労災病院を経て、東邦大学の産業精神保健部門に着任し 3 年半が経過しました。現在の「働き方改革」におきましても、メンタルヘルス対策、両立支援は重要な課題となっており、今後も微力ながら努めてまいりたい所存です。今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

栄友会

渡邊 浩幸

わたなべ ひろゆき

徳島大学大学院栄養学研究科 昭和 60 年 3 月 修士課程修了
(院 16 期生)

高知県立大学健康栄養学部健康栄養学科 教授
産官学研究プロジェクト長



(略歴)

昭和 58 年 3 月 岩手大学農学部農芸化学科 卒業

昭和 60 年 3 月 徳島大学大学院栄養学研究科 修士課程 修了

昭和 60 年 4 月 テルモ株式会社

昭和 62 年 4 月 幸和薬品工業株式会社

平成 5 年 3 月 岩手大学大学院連合農学研究科 博士課程 修了

平成 5 年 4 月 花王株式会社

平成 10 年 8 月 株式会社ファンケル

平成 11 年 4 月 花王株式会社

平成 15 年 3 月 戸板女子短期大学食物栄養科 専任助教授 (平成 17 年 4 月より教授)

平成 18 年 10 月 高知女子大学生活科学部健康栄養学科 (平成 23 年 4 月より高知県立大学健康栄養学部健康栄養学科に名称変更) 教授 (現在に至る)

(賞罰)

平成 10 年 日本油化学会エディタ賞

平成 11 年 第 42 固油脂業界館油脂技術論文 最優秀賞

平成 21 年 日本油化学会エディタ賞

渡邊浩幸氏は、昭和 60 年に徳島大学大学院栄養学研究科修士課程を修了されました(院 16 期)。その後、テルモ株式会社、幸和薬品工業株式会社を経て、平成 5 年に岩手大学大学院連合農学研究科博士課程を修了されました。そして、花王株式会社、株式会社ファンケルを経た後、平成 15 年には戸板女子短期大学食物栄養科の専任助教授として着任され、平成 17 年から教授に昇任されました。

平成 18 年からは現職である高知女子大学生活科学部健康栄養学科 (現在の高知県立大学

健康栄養学部健康栄養学科)の教授として就任されております。渡邊氏は過去に多くの企業での仕事を経験していることから、高知県立大学の産官学研究プロジェクト長も務められ、幅広くご活躍されております。渡邊氏の研究テーマは、食品に含まれる脂質代謝・エネルギー代謝・脳機能に関する機能成分の探索と機能評価で、特に、高脂肪食が誘導する鬱様行動で炎症性サイトカイン TNF α が関与すること、発芽玄米由来ステロール配糖体 (PSG) が TNF α の産生を抑制して鬱様行動を改善することを動物実験から明らかにされております。渡邊氏は、ご自身のアミノ酸研究での驚きの発見を基にして海外の研究者がノーベル賞を受賞したことで、丁寧に研究すれば「世界初」は夢ではないことを実感し、現在も「世界初」に拘って研究活動や後進の育成にご尽力されています。また、それらの成果で「IG-1 分泌促進剤」「抗癌剤」などの特許も取得されています。

世界的にご活躍であることから、お住まいの高知県では日本脂質栄養学会第 22 回大会 (2013 年開催)や第 52 回日本・栄養食糧学会中国・四国支部大会 (2019 年開催) の大会長を務められるなど、中四国地域での研究者を見守り育成することにも情熱を持たれ、栄友会会員の活躍にも常に激励をいただいています。

睦眉会

川田 直伸 かわた なおのぶ

徳島大学医学部附属診療放射線技師学校 昭和57年卒業
徳島大学病院医療技術部診療放射線部門 部門長（技師長）

【略歴】

昭和57年 徳島大学医学部附属病院中央放射線部 勤務
平成27年 徳島大学病院医療技術部診療放射線部門
部門長（技師長）
徳島大学病院医療技術部 副部長
徳島大学医学部保健学科 臨床教授



昭和57年に徳島大学医学部附属診療放射線技師学校をご卒業後、同年4月に徳島大学医学部附属病院中央放射線部に就職されました。以後、放射線業務全般のモダリティ業務に従事し、特にMR検査やCT検査でご活躍され、平成27年に診療放射線部門技師長に就任されました。最近では法令改正への対応や働き方改革に取り組んでおられます。

教育では、徳島大学医学部保健学科、徳島文理大学保健福祉学部の臨床実習に長年携わられ、また、徳島県消防学校の講師等も務めておられます。

対外的には、第13回中四国放射線医療技術フォーラム大会長などを務められ、現在は、JICAによる受託事業「日本モンゴル教育病院運営管理及び医療サービス提供の体制確立プロジェクト」（徳島大学と愛媛大学とコンサルティング会社共同で受託）に協力され、日本モンゴル教育病院の運営管理に助言、指導を行っておられます。本邦研修、現地研修を行い、日本式医療サービスの提供に係る組織体制の整備や運営方法を指導されています。（2017～2022年予定）

蔵歯会

内田 大亮 うちだ だいすけ

愛媛大学大学院医学系研究科・教授（口腔顎顔面外科学講座）

愛媛大学医学部附属病院 歯科口腔外科・矯正歯科長



【略歴】

昭和45年 香川県丸亀市に生まれる

平成 元年 香川県大手前丸亀高等学校卒業

平成 7年 徳島大学歯学部歯学科卒業

平成11年 徳島大学大学院歯学研究科（博士課程）修了

平成11年 徳島大学分子酵素学研究センター・研究機関研究員（情報細胞学部門）

平成13年 徳島大学医学部歯学部附属病院医員

平成13年 徳島大学歯学部・助手（口腔外科学第二講座）

平成16年 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部・助手（口腔腫瘍制御学分野）

平成20年 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部・助教（口腔外科学分野）

平成26年 獨協医科大学医学部・准教授（口腔外科学講座）

平成31年 愛媛大学大学院医学系研究科・教授（口腔顎顔面外科学講座）

平成31年 愛媛大学医学部附属病院 歯科口腔外科・矯正歯科長

現在に至る

【免許・資格など】

博士（歯学）

日本口腔外科学会代議員・指導医・専門医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医（歯科口腔外科）

日本有病者歯科医療学会 認定医・専門医

日本口腔科学会評議員・指導医・認定医

日本口腔内科学会代議員・指導医

日本口腔組織培養学会理事

日本口腔インプラント学会暫定指導医

日本顎顔面インプラント学会暫定指導医

NPO 法人チームリバー副理事長

内田大亮氏は徳島大学歯学部歯学科（13期）を卒業後、徳島大学大学院歯学研究科で学位を取得、平成26年まで徳島大学で口腔外科学の臨床・研究・教育に携わりました。その後、獨協医科大学に准教授として赴任され、平成31年より愛媛大学大学院医学系研究科（口腔顎顔面外科学講座）で教授としてご活躍されています。

学生時代は歯学部バスケットボール部に所属され、当時より練習で汗を流した医学部・薬学部の部員と（夜の）医歯薬連携を行っていたようです。「部活に打ち込んだ人間に悪いやつはいない」をモットーとされており、学生減による最近の歯学部部活動の縮小について憂慮されておられました。

愛媛大学での教授就任にあたり、3つのことを進めていきたいとのことでした。1つ目は氏のライフワークである口腔がん、顎変形症、口唇口蓋裂の治療と研究、2つ目は地域の病院や診療所との病診連携、周術期口腔機能管理などの院内医科歯科連携の強化、3つ目は時代と社会に対応できる歯科医師の育成です。

内田大亮氏の今後ますますのご活躍を祈念いたします。

薬友会

山口 巧 やまぐち たくみ

松山大学薬学部長

松山大学薬学部医療薬学研究室 教授



【略歴】

平成3年3月 徳島大学薬学部薬学科卒業
平成5年3月 徳島大学大学院博士前期課程薬品科学専攻修了
平成18年3月 博士（医学）取得（徳島大学）

【職歴】

平成5年4月 持田製薬株式会社研究員（富士中央研究所配属）
平成6年5月 徳島大学医学部附属病院薬剤部勤務
平成13年7月 愛媛大学医学部附属病院薬剤部勤務
平成15年11月 退役軍人医療センター ルイス・ストークス クリーブランド部門
薬剤部（米国オハイオ州）（派遣）
平成20年4月 松山大学薬学部医療薬学教育センター（医療薬学）准教授
平成28年4月 松山大学薬学部・大学院医療薬学研究科 医療薬学研究室
教授（現在に至る）
平成31年4月 松山大学薬学部長（現在に至る）

山口 巧氏は平成3年に薬剤師免許を取得して直ちに徳島大学大学院に進学し、その後臨床現場で薬剤師業務に従事する傍ら研究に取り組み、平成18年に博士（医学）を取得されました。その後は松山大学薬学部に移動され後進の教育・研究に取り組まれ、現在は松山大学薬学部長としてご活躍されています。

山口 巧氏は徳島大学薬学部時代の思い出として、医学部ワングル部に所属し、週末になると山々を仲間と一緒に駆けずり回っていたこと、所属した研究室（薬学部生化学教室）では先輩方と夜遅くまで実験に取り込んだこと、また研究テーマに関連した動物組織からのタンパク質抽出・精製が大変だったことを憶えておられるそうです。このような徳島大学時代の経験を通し、山口巧氏は松山大学薬学部の学部長として、学部の教育向上や研究推進、学生生活の向上、学部のグローバル化など、多くの課題に積極的に取り組まれています。

山口 巧氏からは『徳島大学薬学部は、若い薬学部が目指すお手本のような存在です。我が国の薬学部のリーダーとして世界に誇れる研究や研究者を輩出し、医療現場で活躍する薬剤師をどんどん育成していただきたい』というメッセージをいただきました。

山口 巧氏が学部長を務める松山大学薬学部は創設15年目を迎えた若い薬学部であり、そこに若いリーダーとして取り組む山口 巧氏の今後益々のご活躍を願ってやみません。

工業会

村松 和明 むらまつ かずあき

工学部生物工学科 平成5年卒業
東京電機大学理工学部生命科学系 教授・学系長

(略歴)

1993年3月	徳島大学工学部生物工学科卒業
1995年3月	徳島大学工学研究科博士前期課程 生物学専攻修了
1995年4月	新日本理化株式会社京都研究所
1998年1月	京セラ株式会社バイオセラム事業部研究開発部
2003年11月	学位取得 博士(工学) (徳島大学)
2005年4月	東京電機大学理工学部生命工学科講師
2008年4月	東京電機大学理工学部生命理工学系准教授
2013年10月	東京電機大学理工学部生命理工学系教授
2017年4月	東京電機大学理工学部生命科学系学系長 (現在に至る)



村松和明氏は生物工学科第2期生であり、本学修士課程修了後、学生時代に奨学金を支給頂いた化学メーカーに入社され、天然高分子を活用した素材開発に取り組みられました。その後、整形外科・歯科領域の製品を扱う医療材料メーカーに転職され、複数の新規プロジェクト（循環器領域の製品開発や再生医療分野の研究）に従事されました。この間、通商産業省工業技術院物質工学研究所（現・産業技術総合研究所）で2年間、奈良県立医科大学で1年間、社外で研究する機会を得たことが契機となり、母校で学位取得をされています。2005年には東京電機大学理工学部へ奉職され、それ以来、再生医学や組織工学、生体材料学などの教育研究に携わられています。研究活動面では、特にヒアルロン酸誘導体の新しい生理機能の解明や、その医学応用に関する研究に注力しておられています。また、私立大学は生き残りをかけて組織改編を行う機会が多く、東京電機大学理工学部では、2007年より一早く取り入れられた学系制度（※学科に代わる学系を採用し、主・副コースによるダブルメジャー制度）に基づいて、学際領域に貢献できる科学技術者を養成されています。2017年の改編で、教育カリキュラムとともに学系名称も再度変更されたのと同時に、学系長にご就任され、学生の教育や学系運営に日々試行錯誤しながら奔走し、毎日を過ごされています。

徳島大学創立70周年記念事業

徳島大学創立70周年記念式典・祝賀会

昭和24年に創立した本学は、令和元年11月2日に創立70周年を迎えました。

創立70周年を記念して、令和元年11月3日（日曜日・祝日）、JRホテルクレメント徳島において、徳島大学創立70周年記念式典・祝賀会を挙行之、関係者約200名の方にご臨席賜りました。

式典では、初めに、徳島大学合唱団リーダークライスによる合唱が披露されました。学長式辞に続いて、来賓としてご出席いただいた文部科学省高等教育局国立大学法人支援課の淵上孝課長より文部科学大臣からの祝辞を代読いただき、次に、飯泉嘉門全国知事会長・徳島県知事、海外学術交流協定校のモンゴル国立医科大学のアマルサイハーン・バザール副学長及び大連理工大学のラ ツンシェン学長補佐よりご祝辞を頂戴しました。

また、本学の発展に多大な貢献をいただいた、個人ならびに法人・団体のみなさまへ野地学長から感謝状の贈呈が行われました。



式典の様子



徳島大学合唱団リーダークライスによる合唱



野地澄晴学長式辞



淵上孝国立大学法人支援課長による大臣祝辞の代読



飯泉嘉門全国知事会長・徳島県知事による祝辞



アマルサイハーン・バザール
モンゴル国立医科大学副学長による祝辞



ラ ツンシェン大連理工大学
学長補佐

徳島大学創立70周年記念式典

記念式典では、徳島大学の教育・研究の発展に、多大の貢献をされた個人、企業・団体のみなさまへ感謝状の贈呈が行われました。

併せて、内閣府より、公益のために私財を寄附された方へ贈られる「紺綬褒章（こんじゅほうしょう）」が、濱本 恒男様と株式会社阿波銀行様へ授与され、野地学長より、濱本様には褒状（ほうじょう）と飾版（しょくはん）が、株式会社阿波銀行様には褒状が贈呈されました。

●創立70周年記念式典での感謝状贈呈者

会社名	役職	氏名	区分
		濱 本 恒 男	個人
		藤 多 和 子	個人
公益財団法人康楽会	理事長	三 木 緑	法人
大塚製薬株式会社	代表取締役社長	樋 口 達 夫	法人
日亜化学工業株式会社	代表取締役社長	小 川 裕 義	法人
株式会社阿波銀行	取締役頭取	長 岡 奨	法人
株式会社大塚製薬工場	代表取締役社長	小笠原 信 一	法人
四国電力株式会社	取締役社長	長 井 啓 介	法人
医療法人社団友伸会	理事長	堀 米 伸 康	法人
ミヤリサン製薬株式会社	社長	内 田 正 行	法人



濱本恒男 様
(紺綬褒章・褒状と飾版の贈呈)



株式会社阿波銀行 様
(紺綬褒章・褒状の贈呈)



日亜化学工業株式会社 様
(感謝状の贈呈)



感謝状 (サンプル)

徳島大学創立70周年記念祝賀会

引き続いて、同会場で開催された祝賀会では、衆議院議員の山口俊一様、徳島大学創立70周年記念事業後援会名誉会長の青野敏博先生、海外学術交流協定校の東國大学校のチャン フン イ薬学部長より来賓スピーチを頂戴しました。その後、海外学術交流協定校への記念品の贈呈が行われました。祝宴は、大坪潤一郎工業会理事長の乾杯で始まり、徳島大学栄養学連により阿波踊りが披露され、桜井えつ青藍会会長の万歳三唱により、閉宴となりました。

創立70周年記念事業へは多くの皆様からご支援賜り、御礼申し上げます。

本学は、今後も、30年先(創立100周年)の未来へ向かい、様々な新しい試みに挑戦し大学が一体となって躍進して参ります。



祝賀会の様子



徳島大学栄養学連による阿波踊り



山口俊一衆議院議員
による来賓スピーチ



青野敏博大学創立 70 周年記念事業
後援会名誉会長による来賓スピーチ



チャン フン イ東國大学校
薬学部長による来賓スピーチ



大坪潤一郎工業会理事長による乾杯



桜井えつ青藍会会長による万歳三唱

徳島大学創立70周年記念祝賀会



海外交流協定校への記念品贈呈



海外交流協定校への記念品
(円筒花器)



アマルサイハーン・バザール
モンゴル国立医科大学副学長
からの記念品贈呈



ラ ツンシェン大連理工大学学長補
佐からの記念品贈呈



チャン フン イ東國大学校
薬学部長からの記念品贈呈



モンゴル国立医科大学の名誉教授の称号, 及びモンゴル保健大臣令
による「保健省栄誉メダル」を授与される野地学長



施卫东 南通大学長からの祝電

徳島大学創立70周年記念講演会

令和元年11月3日（日・祝）、JRホテルクレメント徳島において、徳島大学創立70周年記念講演会を開催し、学生、同窓生、地域住民の方、学内関係者等、約400名の方にご参加いただきました。

野地澄晴本学学長による開会の挨拶に続き、講演の第一部では、整形外科医そしてスポーツドクターとしてこれまでに数々のアスリートの治療に携わってきた本学大学院医歯薬学研究部運動機能外科教授の西良浩一教授により、「“Beyond The TOKYO”腰痛治療最前線～徳島からこの技術を全国に～」と題して、第二部では、前述の西良教授の内視鏡による頸椎手術を受けられたアルピニストの野口健氏を講師としてお迎えし、「あきらめないこと、それが冒険だ」と題して、山との出会い・西良教授との出会いについて、様々なエピソードをまじえご講演いただきました。

講演会にはご参加いただいた数多くの参加者の方は、熱心に演者の話に聞き入れられていました。



会場の様子



挨拶する野地学長



講演する西良浩一教授



講演する野口健氏

徳島大学創立70周年記念講演会

徳島大学創立70周年記念事業では、各部局において、講演会等に創立70周年記念事業の冠を伏して開催いただくことにより、本学の創立70周年記念事業を盛り上げるとともに、地域の皆様方にも広くPRいただきました。

日 時	名 称	実 施 部 局
2019 年 1 月 22 日	四国発信！ダイバーシティ研究環境調和推進プロジェクトキックオフシンポジウム 2018	AWA サポートセンター
2 月 3 日	第 258 回徳島医学会学術集会市民公開シンポジウム	医学部
2 月 15 日	公開シンポジウム「観光まちづくりのための地域人材育成」	総合科学部
3 月 3 日	市民公開講座「徳島大学病院フォーラム 2019 春」	病院
3 月 5 日	第 15 回徳島大学国際展開推進シンポジウム「母国で振り返る私の徳島大学留学生時代」	国際センター
5 月 25 日	Women's Career Speech Contest	AWA サポートセンター
6 月 9 日	第 48 回徳島大学薬学部卒後教育公開講座	薬学部
7 月 7 日	人と地域共創センター設立記念 とくしま健康寿命からだカレッジ開設フォーラム 「本気で延ばそう！楽しく延ばそう！健康寿命」	人と地域共創センター
8 月 4 日	第 259 回徳島医学会学術集会	医学部
11 月 2 日	講演会「新幹線で四国を変えよう！」	徳島経済同友会、 理工学部、工業会
11 月 9～ 11 月 10 日	イノベーション教育学会第 7 回年次大会	高等教育研究センター
11 月 9～ 11 月 10 日	令和元年度「人体解剖標本の展示」	歯学部 大学院医歯薬学研究部

徳島大学創立70周年記念事業
第259回徳島医学会学術集会
市民公開シンポジウム
新しい時代の医療を拓く-診断と治療法の最新情報-

日時: 令和元年8月4日(日)13:40～15:40
会場: 徳島県医師会館
徳島市幸町3-6-1
駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。
周回のサインボード等をご用意いたします。

後援: 徳島大学大学院医歯薬学研究部 徳島大学 医学部 徳島大学 医学部
徳島大学大学院医歯薬学研究部 小児科学分野 徳島大学 医学部
徳島大学大学院医歯薬学研究部 小児科学分野 徳島大学 医学部

1. 凍結療法の実状と展望
徳島大学病院 放射線科 放射線科 岩本 誠司

2. ここまでわかるアルツハイマー病の画像診断
徳島大学病院 放射線科 放射線科 音見 暢一

3. 神経難病とゲノム医療
徳島大学大学院医歯薬学研究部 脳神経科学分野 講義 瓦井 俊孝

4. 先天性疾患とゲノム医療
徳島大学病院 小児科 特任助教 要野 彩

5. 遺伝性乳がんとゲノム医療について
徳島大学病院 産科婦人科 特任助教 森本 雅美

〓 徳島大学 〓 徳島県医師会 〓 徳島県病院
〓 徳島大学 〓 徳島県医師会 〓 徳島県病院
〓 徳島大学 〓 徳島県医師会 〓 徳島県病院

徳島大学創立70周年記念
第15回 徳島大学国際展開推進シンポジウム
**母国で振り返る
私の徳島大学留学生時代**
主催: 徳島大学国際センター

徳島大学で留学し、帰国後母国で活躍されている方々に本会を招き入会して意見交換を行います。
母国語による講演です。一般の方のご参加もお待ちしております。(申込不要)

期日 / 平成31年3月5日(火) 15:30～17:30
場所 / 阿波観光ホテル 4階ロビーホール(入場無料)

プログラム

- 1. 徳島大学国際センター 徳島大学 国際センター 徳島大学 国際センター
- 2. 学長挨拶 徳島大学 学長
- 3. Academic Excellence and Leadership Nexus: Lessons from the Academic Link between Tokushima University and University of Gender (学術的卓越性-ジェンダー研究とのつながり-学術的卓越性とのつながり)
- 4. My Dream Triggered in Tokushima (徳島で夢が実現した瞬間)
- 5. Remaining True to Our Original Aspiration is One Form of Gratitude (徳島で夢が実現した瞬間)
- 6. 10 Years of Life in Tokushima (徳島で10年を過ごすこと)
- 7. 意見交換会
- 8. 学長から講演者への感謝と記念品の贈呈
- 9. 閉会挨拶

お問い合わせ: 徳島大学 国際センター 国際展開推進課 (TEL: 089-656-7971)
e-mail: kokusai@tokushima-u.ac.jp

「徳島大学創立 70 周年記念事業」の文言をいれたチラシ

徳島大学創立70周年記念美術展

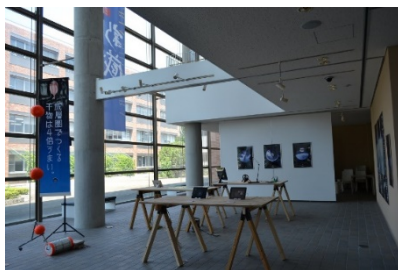
記念美術展は、2019年4月から11月の間、徳島大学日垂会館1階のギャラリー新蔵において、開催しました。

本学の総合科学部の芸術系教員や卒業生及び在学生により、内容を入れ替えながら12の展覧会を開催し、8ヶ月間延べ679名の方にご来場いただきました。

展覧会名	展示期間
平木美鶴 展 - colors box - (絵画・版画)	4/4(木) ~ 4/14(日)
埴淵祐子 油彩画展 - 絵になる飲みもの - (絵画)	4/16(火) ~ 4/28(日)
木村大志 展 - ケモノに託したかたち - (彫刻)	5/2(木) ~ 5/15(水)
安藝真祐子 絵画展 - はる なつ あき ふゆ - (絵画)	5/19(日) ~ 5/30(木)
河原崎貴光 展 (現代美術)	6/18(火) ~ 6/30(日)
デザイン表現研究室学生・卒業生グループ展	7/2(火) ~ 7/20(土)
佐原 理 展 (映像・現代美術)	8/1(木) ~ 8/12(月・祝)
aio 展 (イラスト)	8/31(土) ~ 9/16(月・祝)
横断領域表現研究室学生グループ展	9/18(水) ~ 9/29(日)
絵画表現研究室卒業生グループ展	10/5(土) ~ 10/14(月・祝)
絵画表現研究室学生グループ展	10/17(木) ~ 10/27(日)
徳島大学総合美術展 (これまでの出品者及び関係者)	11/1(金) ~ 11/24(日)



平木美鶴 展 - colors box -
「観天望気」



佐原 理 展
「成層圏でつくる干物は4倍うまい」



絵画表現研究室
卒業生グループ展

徳島大学創立70周年記念ホームカミングデー

令和元年11月2日(土)、徳島大学創立70周年記念ホームカミングデーを開催しました。事務局主催のオープニングセレモニー及び記念講演会は、徳島大学蔵本キャンパス長井記念ホールで開催し、約100名の方にご参加いただきました。

オープニングセレモニーでは、初めに本学交響乐团による演奏があり、野地学長から開会の挨拶を行いました。本学役員・部局長、各同窓会の代表者の紹介に続いて、常三島地区の同窓会を代表して渭水会の濱尾会長から、蔵本地区の同窓会を代表して栄友会の津田会長から、それぞれご挨拶いただきました。

その後の記念講演会では、野地学長から「徳島大学の明るい未来像」と題して、学長の専門分野である生物の進化やゲノム編集の話題をまじえて、ご講演いただきました。

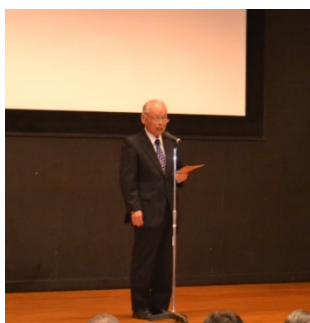
徳島大学にある各学部や学科を中心とした7つの同窓会が同じ日にホームカミングデーを開催するのは初めての試みでしたが、各同窓会のイベントともに盛会となりました。



会場



徳島大学交響乐团による演奏



渭水会・濱尾会長挨拶



栄友会・津田会長挨拶



野地学長による講演



物販コーナー（長井記念ホール ロビー）

月刊「企業と大学」

徳島大学創立70周年記念事業の一環で、国立大学初となる地域経済と大学をつなぐ月刊誌「企業と大学」を平成30年11月2日に創刊しました。

徳島県内の産学連携を推進するとともに、大学生の地元就職率を高める契機となることを目指し、県内企業の魅力を伝えるとともに、大学の取り組みを紹介しています。

掲載号	特集企業	特集
2018年 11月号(創刊号)	日亜化学工業株式会社	徳島から世界へ、NICHIAの挑戦
12月号(第2号)	株式会社阿波銀行	今に生き、未来へつなぐ藍商人の経営哲学
2019年 1月号(第3号)	株式会社NTTぷらら	「ひかりTV」で躍進、4Kコンテンツぞくぞく
2月号(第4号)	阿波製紙株式会社	「紙」を超える!阿波製紙102年の挑戦
3月号(第5号)	株式会社メディアドゥホールディングス	徳島が生んだ電子書籍業界トップメディアドゥグループの戦略
4月号(第6号)	四国化工機株式会社	ニッチ市場を創出し、世界の食文化を変える四国化工機グループ
5月号(第7号)	富田製薬株式会社	あくなき探求心で医薬品の研究開発、富田製薬の126年
6月号(第8号)	四国電力株式会社	地域の暮らしを支えるマルチユーティリティー企業よんでんグループ
7月号(第9号)	株式会社徳島銀行	環境変化に対応し地域とともに成長する徳島銀行
8月号(第10号)	大塚ホールディングス株式会社	世界の人々の健康に貢献 革新的な製品を創造する 大塚グループ
9月号(第11号)	Arithmer 株式会社	東大数理発のArithmer社は高度数学を応用して未知のAI・IT技術を創造
10月号(第12号)	株式会社GF	人と地球に優しい自然エネルギー発電株式会社GF
11月号(第13号)	三木産業株式会社	阿波藍から創業し世界的な化学品専門商社へ発展
12月号(第14号)	株式会社スタン	石炭販売に始まり、2018年に創業100周年を迎えたSTANグループ
2020年 1月号(第15号)	シケングループ	歯科医療の発展と人々の健康に貢献、共に成長するシケングループ
2月号(第16号)	一般社団法人徳島新聞社	徳島の情報・文化を発信「県民と共に行く」
3月号(第17号)	化研テクノ株式会社	四国全域・岡山をフィールドに、最先端の試薬や分析機器で地域に貢献



■発行概要

雑誌名： 月刊「企業と大学」
 発行： 毎月2日発行
 概要： A4判無線綴じ 本文64ページ オールカラー
 定価： 本体500円+税
 発行部数： 10,000部
 発行： 国立大学法人徳島大学



人・地域をはぐくみ未来をつくる 徳島大学70

徳島大学各同窓会 (各学部) イベント

2019年
11月2日(土)
今年度は、
大学祭との同時開催

お申し込み等は、各同窓会事務局まで
お問い合わせください。

常三島キャンパス

渭水会

・オープニングセレモニー

①13:30～ ②地域連携プラザ 常三島けやきホール

・総合科学部キャンパス デジタルアーカイブ

①13:30～16:30 ②地域連携プラザ 常三島けやきホール

・同窓会 in 学食(要事前申込み)

①(風の部) 12:00～14:00(夜の部) 17:30～19:30

②常三島キャンパス 学食

対象 渭水会会員の団体(代表者がお申し込みください) 参加費 5,000円

申し込み・問い合わせ

渭水会事務局 Tel 088-656-7293 fax 088-657-7467

携帯 090-2824-5006(大井) E-mail info@isuikai.jp

申し込みは、9月1日より受付開始

工業会

・会食・懇話会(要事前申込み)

①12:50～13:50 ②工業会館 2F メモリアルホール

・挨拶 名誉会長、名誉副会長、理事長

①13:50～14:05 ②工業会館 2F メモリアルホール

・写真撮影 ①14:05～14:15 ②工業会館前

・学科・コースの研究室・実験施設等見学

①14:15～15:15 ②理工学部・生物資源産学学部各研究室・実験施設等

申し込み・問い合わせ

工業会事務局 Tel&Fax 088-656-5432

E-mail office@kgk.tokushima-u.ac.jp

申し込みは、9月初旬発行の工業会報折り込みハガキにて10月21日まで

・講演会 徳島経済同友会・理工学部・工業会共催(当日参加可)

講師 石原 俊輔氏(四国経済連合会 特任理事)

演題 新幹線が四国を変えよう!

①15:30～16:30 ②理工学部共通講義棟(K206室)

問い合わせ 工業会事務局 Tel&Fax 088-656-5432

常三島キャンパス

大学祭開催に伴い、一般の方は駐車場がご利用できません。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。大学事務局主催のオープニングセレモニー&記念講演会に参加される方は、蔵本キャンパス発・常三島キャンパス行きの無料シャトルバスをご利用いただけます(要事前申込み)。

蔵本キャンパス

駐車スペースに限りがありますので、ご来場の際は公共交通機関の利用にご協力ください。大学事務局主催プログラム(セレモニー・記念講演会)に参加される方のうち、希望者には、受付で駐車割引券(ご本人負担100円)を配布します。



徳島大学創立70周年記念事業

特別サイト

https://www.tokushima-u.ac.jp/about/anniversary_70th/memorial_ceremony/

蔵本キャンパス

青藍会・陸厩会

・講演会

講師 長谷川好規先生

(独立行政法人国立病院機構理事名古屋医療センター院長/前名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学教授)

演題 徳島大学での学びと現在の私〜呼吸器病研究へのいざない〜

①15:30～17:00 ②藤井節郎記念医科学センター1階 藤井節郎記念ホール

申し込み・問い合わせ

青藍会事務局 Tel 088-633-7109 Fax 088-633-3180

E-mail seiran@tokushima-u.ac.jp

陸厩会

キャンパスツアー(要事前申込み)

①13:30～15:00 ②保健学科内

申し込み・問い合わせ

FAXまたはE-mailにて申込項目(氏名、卒業学校、卒業年、所属(看護・放射・検査・助産))をお知らせください。

FAX 088-633-9067 E-mail mutsumi.jim@gmail.com

栄友会

・講演会(要事前申込み)

講師 中村丁次先生

(栄養学科5期生、神奈川県立保健福祉大学学長、日本栄養士会会長)

演題 持続可能な社会の実現のために栄養が果たす役割

①9:45～10:45 ②藤井節郎記念医科学センター1階 藤井節郎記念ホール

・栄養展―蔵本祭合同企画―(要事前申込み)

①12:30～14:00(ラストオーダー13:30) ②栄養学棟1階103

・研究室見学ツアー

①14:00～17:00の間で適宜開催 ②栄養学棟1階にて当日受付

申し込み・問い合わせ

医科栄養学科応用栄養学分野(旧・分子栄養学分野、栄養化学講座)

ホームカミング委員 金子一郎(35期)

Tel&Fax 088-633-7082 E-mail eiyoukai@tokushima-u.ac.jp

講演会・栄養展の申し込みは、9月1日から10月20日まで

蔵歯会

・映画上映「笑顔の向こうに」(日本歯科医師会制作)

(要事前申込み)※先着順。定員になり次第締め切り。

①1回目上映13:00～15:00、2回目上映15:00～17:00

②歯学部棟 大講義室(4階)

問い合わせ

事務局 Tel 080-6392-7362

D-FAX 020-4622-5181

E-mail honbu@dentclin.tokushima-u.ac.jp

申し込み



左記サイトに
アクセスして
お申し込み
ください。

薬友会

・薬学部研究室・施設見学会

(徳島県・徳島県薬剤師会・徳島市薬剤師会「くすりと健康フェア」と併催)

①10:00～16:00 ②薬学部棟1階にて受付

問い合わせ

事務局 Tel 088-633-7292(金曜14:00～16:00)

Fax 088-633-9517 E-mail reunion-ph@tokushima-u.ac.jp

◆各学部・同窓会の創立70周年記念イベント

渭水会（総合科学部同窓会）

渭水会では、去る11月2日、常三島けやきホールにて、初の「ホームカミングデー」を開催いたしましたところ、大勢のご参加・ご来場をいただき、盛会に終えることができました。誠にありがとうございました。

ホームカミングデーでは、総合科学部社会総合科学科地域創生コースの桑原恵教授、佐原理准教授、塚本章宏准教授のご協力をいただき、「総合科学部キャンパスデジタルアーカイブ」と銘打った展示を行いました。師範学校時代から学芸学部、教育学部、総合科学部と140年余に渡るキャンパスの変遷を振り返る貴重な古写真を展示。オープニングセレモニーでは、渭水会ゆかりの音楽家で特別編成された弦楽四重奏団「ISUI カルテット」の演奏や、佐原理准教授制作の記念動画「STORIES ー古写真で振り返る総合科学部-」の上映も行われました。また、「懐かしい生協で同窓会を！」という「同窓会 in 学食」にも、昼の部・夜の部合わせて100名近くのご参加をいただきました。会場のあちこちで咲いた笑顔、つきない思い出話……青春時代にもどった気分で、楽しいひとときを過ごしていただきました。



【写真にまつわるエピソード、情報の聞き取り調査も行われました】



【「同窓会 in 学食」のもよう】



【ISUI カルテットによる記念演奏】

青藍会（医学部医学科同窓会）

11月2日に、徳島大学70周年記念事業の一環としての青藍会講演会を開催しました。例年の蔵本祭では医学部医学科との共催でしたが、今回は保健学科の同窓会である睦眉会も共催でした。講師には名古屋医療センター院長・本年度日本内科学会会頭の長谷川好規先生（26期）をお招きいたしました。テーマは「徳島大学での学びと現在の私～呼吸器病研究へのいざない～」で座長は呼吸器・膠原病内科学教授の西岡安彦先生（34期）が務められました。ご自分の歴史を交えられながらの和やかなご講演で、呼吸器疾患理解の整理と人の繋がりの大切さが頭と心に残りました。同期の先生たちからのユーモアたっぷりの質問などあり、これぞ本来の同窓会のあるべき姿と認識を改めて深く感じました。

11月2日にはホームカミングデーに合わせていくつかのクラス同窓会（同期会）が開かれましたが、突出していたのが「アラカン同窓会」です。還暦相当の前後6学年（26期から31期まで）の合同の会で、長谷川好規先生も参加され青春に戻られていたようです。このような縦のつながりの連携プレーで青藍会は盛り上がっていくことが期待されます。



青藍会・医学科講演会
徳島大学創立70周年記念事業ホームカミングデー

栄友会（医学部栄養学科・医科栄養学科同窓会）

栄友会は、11月2日（土）徳島大学 創立70周年記念事業のホームカミングデーのイベントとして、講演会、栄養展（蔵本祭合同企画）、研究室見学ツアーを行いました。

講演会では、中村丁次先生（栄養学科5期生・神奈川県立保健福祉大学学長・日本栄養士会会長）をお招きし、「持続可能な社会の実現のために栄養が果たす役割」のご講演をいただきました。日本の栄養学の歴史を学び、中村先生をはじめ諸先輩方のご苦労・ご尽力の上に、今日の管理栄養士制度・栄養学の発展があるのだと、感謝と尊敬の念でいっぱいになるとともに、私達も頑張らなくてはと背中を押していただきました。「Japan Nutrition を世界へ」という中村先生のお言葉が印象的でした。

講演会前日の夜には「中村先生を囲む会」が開催されました。かつての栄養学科の機関誌である「馬奮志」の話題もあがり、昔話に花が咲きました。

ご出席・ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



栄友会講演会
徳島大学創立70周年記念事業ホームカミングデー



徳島大学創立70周年記念祝賀会で阿波踊りを披露する栄養学連

睦眉会（医学部保健学科同窓会）

11月2日（土）、徳島大学主催のオープニングセレモニー・記念講演会が、蔵本キャンパス内の長井記念ホールで開催されました。午後からは、各同窓会において、特徴を生かしたプログラムが開催されました。

睦眉会では、学内と病院のキャンパスツアーと講演会を行ないました。キャンパスツアーでは、保健学科看護学専攻・放射線技術科学専攻・検査技術科学専攻の教員が卒業生のガイドとなり、最新設備の整った校舎や病院を案内致しました。卒業生は、自分達の学生時代を思い出しながらわいわいと交流を深められ、楽しいツアーとなりました。また、同日は、創立70周年記念大学祭も開催されており、蔵本キャンパスには多くの学生で賑わっていました。

15時30分からは、青藍会・睦眉会・医学科共催による学術講演会が藤井節朗記念ホールにて開催されました。講師に本学の医学科卒業生である、名古屋医療センター院長の長谷川好規先生をお迎えし、「徳島大学での学びと現在の私～呼吸器病研究へのいざない～」をテーマに、臨床研究の成果や最新の治療法をご講演いただきました。参加者からは同窓会ならではの質問も多くあり、有意義で楽しい時間となり、講演会は大盛況にて終了致しました。

今後の睦眉会会員の皆様のご活躍とご健康を願い、10年後、徳島大学80周年にてキャンパスでお会い出来る事を楽しみにしております。

徳島大学創立70周年記念事業 ホームカミングデーにおける
睦眉会主催キャンパスツアーの様子



蔵歯会（歯学部同窓会）

令和元年11月2日（土）、徳島大学歯学部同窓会（蔵歯会）では、徳島大学創立70周年記念事業ホームカミングデーにおいて、日本歯科医師会が制作した映画『笑顔の向こうに』の上映イベントを開催しました。

映画『笑顔の向こうに』は、歯科医療の現場をテーマに、若者たちの成長を描いた作品で、厚生労働省の推薦を得るとともに、モナコ国際映画祭にて最優秀作品賞にあたる「エンジェル・ピース・アワード」を受賞した青春映画です。

上映会には、同窓生のみならず、学生のみなさんにも多数ご参加いただき、盛会のうちに無事終了することができました。ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた関係各位に心より御礼申し上げます。



蔵歯会ホームカミングデー
上映会ちらし

薬友会（薬学部同窓会）

会員各位から温かいご支援を頂きました徳島大学創立 70 周年記念事業ですが、11 月 2 日ホームカミングデー：長井記念ホールにてオープニングセレモニー、野地学長による記念講演の後、学生さんのご案内で薬学棟内を見学しました。同時開催の「くすりと健康フェア（徳島薬剤師会や製薬協等併催）」には、多くのご家族連れが訪れ、白衣を着たお子様達が楽しげに薬局体験をされていました。第 35 回蔵本祭も開かれており、ステージ演奏や模擬店を楽しみ、学生時代を懐かしみました。

なお、2022 年に薬学部は創立 100 周年を迎えます。

今後とも母校の発展のために、会員各位の温かいご指導ご支援をお願い申し上げます。



11 月 2 日（土）
ホームカミングデー@薬学部棟



くすりと健康フェア 会場の様子



工業会（工学部・理工学部・生物資源産業学部同窓会）

徳島大学創立 70 周年を記念事業の一環として徳島大学各学部の同窓会（7 同窓会）合同でホームカミングデイを 11 月 2 日（土）に行いました。まず、蔵本キャンパスでオープニングセレモニー＆記念講演会を大学本部主催で執り行った後、引き続き、常三島キャンパスで第 14 回工業会ホームカミングデイが開催されました。

まず、長宗秀明庶務担当理事の進行で開会し、昼食と懇談の後、橋爪正樹名誉会長（理工学部長）、横井川久己男名誉副会長（生物資源産業学部長）、大坪潤一郎工業会理事長から、開催にあたっての挨拶を頂戴しました。

引き続き、恒例の工業会館前での集合写真撮影後、ポスト LED フォトニクス研究所を訪問し、4 班に分かれて、安井武史所長、水野孝彦特任助教、鈴木昭浩特任研究員、長谷栄治特任研究員から研究所の概要と施設設備の紹介を受けた後、事前申し込みしていただいた各コースに分かれて、研究室、実験装置等の見学を行いました。

最後に石原俊輔先生（四国経済連合会 特任理事）から共通講義棟 K206 室において、「新幹線で四国を変えよう！」と題した講演会が開催され、四国に新幹線は当然整備されるべき公共施設であること、四国地域創生・活性化には新幹線は必要条件ではあるが十分条件ではなく、市民の協働を育む仕組みが必要であること等分かりやすい説明がなされ、活発な質疑討論が予定時間を超えて行われました。

大学祭期間中の、さらには、本年 2 回目の開催となったホームカミングデイでしたが、遠路、奈良や和歌山からのご参加や、5 月と今回、2 度ともご参加いただく等 60 名を超えてご参集いただき、大変有意義なホームカミングデイを開催することができました。記して感謝申し上げます。



11 月 2 日（土）
第 14 回工業会ホームカミングデイ



徳島大学 70 周年記念講演会：石原講師

徳島大学同窓会連合会ニュースレター第24号

発行日：令和2年6月1日

編集：徳島大学同窓会連合会事務局

連絡先：〒770-8501

徳島市新蔵町2丁目24番地

国立大学法人徳島大学総務部同窓生・基金室

TEL 088-656-9981